

**製品名: RGR ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17086**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	RGR
別名	RGR; RPE-retinal G protein-coupled receptor
遺伝子 ID	5995.0
SwissProt ID	P47804
免疫原	抗血清はヒト RGR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 169-218

**背景**

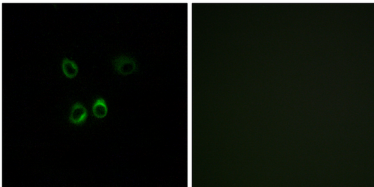
網膜 G タンパク質共役受容体(RGR) Homo sapiens この遺伝子は、推定上の網膜 G タンパク質共役受容体をコードしています。この遺伝子は、7 回膜貫通型の G タンパク質共役受容体 1 ファミリーのオプシンサブファミリーのメンバーです。レチナルアルデヒド

に結合する他のオプシンと同様に、7番目の膜貫通ドメインに保存されたリジン残基が含まれています。このタンパク質は光異性化酵素として働き、オールトランスレチナルから11-シスレチナルへの変換を触媒します。逆の異性化は、網膜光受容細胞内のロドプシンで起こります。このタンパク質は、網膜光受容細胞に隣接する組織、網膜色素上皮細胞、およびミュラー細胞でのみ発現しています。この遺伝子は、常染色体劣性および常染色体優性網膜色素変性症(それぞれ arRP および adRP)に関連している可能性があります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008年7月],疾患: RGR の欠陥は、常染色体劣性網膜色素変性症 (ARRP) [MIM:268000]の原因です。RP は網膜光受容細胞の変性を引き起こします。患者は典型的には夜間視力低下と中周辺視野の喪失を経験します。病状が進行するにつれて、遠方周辺視野が失われ、最終的には中心視力も失われます。機能: オールトランス型および11-シス型レチナルの受容体。オールトランス型レチナルに優先的に結合し、レチノクロム様メカニズムによって発色団の異性化を触媒する可能性があります。オンライン情報: Retina International's Scientific Newsletter,PTM: オールトランス型および11-シス型レチナルに共有結合します。類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。オプシンサブファミリー。組織特異性:網膜色素上皮 (RPE) および神経網膜のミュラー細胞で高レベルで優先的に発現します。

## 研究分野

シグナル伝達; シグナル伝達経路; Gタンパク質シグナル伝達; GPCR; 神経科学; 感覚系; 視覚系; 神経伝達; 受容体/チャンネル

## 画像データ



RGR抗体を用いたMCF7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。